



井上道義の 未だだった今より

O E Kのコンサートはテレビで広く配信されています。例えば4年前の私の就任披露コンサート。NHKとテレビ金沢が同時に収録してくれたので、それぞれのカメラワークの個性が画面から見られました。地元根付いた「世界のO E K」ですから、北陸朝日放送(HAB)、MRO、石川テレビなども、各新聞社とともに定期公演前に開く記者会見を取材し、内容や魅力を周知してくれています。こんなオーケストラは世界中ありません。

先日いい話を聞きました。HABの定期公演の収録には、大阪の朝日放送のスタッフが、東京のテレビ朝日から機材を借りたりもして参加。カメラワークが巧い人たちが自分から手を挙げてくるシステムで、くじ引きで取り合いにさえなるやりがいのある仕事、学生のノリに戻れる魅力ある仕事と捉えられているのだと。撮った

後は夜中の2時3時、人によっては朝の5時まで、侃々諤々、カメラスパンの角度、切り込みの勢い、フォーカスの深さなど議論がとどまることがないとも。

♪ 多様な石組み

O E Kは、ツアーや室内楽の仕事が日本一多いオケで、楽員も僕も事業係も青息吐息の自転車操業です。その上、僕が運び込んだ10万人規模のクラシック音楽の祭典「ラ・フォル・ジュルネ」(L F J)もある。その影響なんでしょうか、外国人組も含め楽員は無意味な遠慮をしないで議論をし、わだかまりは後に残さない。

そんなO E Kはたぶん古くから文化の多様性を許す金沢の伝統とどこか共通していると感じます。素晴らしいものを生む前のマグマのような現在の、いいような悪いような話でした。

(オーケストラ・アンサンブル金沢)
音楽監督